

健診機関向け説明会 20240712, 17, 19 資料

HASTOSサービス開始について

1. サマリー資料

2024年7月

日本医師会総合政策研究機構
健診標準フォーマット管理事務局

趣旨： 変換ツール（以下、POST.ex）の維持メンテナンスをタイムリーに行うため
ダウンロード型POST.exをサーバー型POST.exに変更する

経緯：

- 1) POST.ex導入施設が増加している
 - ・ 現在500か所を超え、今年度中に700-800か所に増加見込み
- 2) 保守メンテナンスを各施設の担当者とメールで対応することに限界
 - ・ 全施設のマスタファイルなどを同時にメンテナンスできない
- 3) セキュリティ面でウイルスチェックが今後厳しくなる
 - ・ POST.exの実行ファイルをダウンロードできなくなる

注意点：

- 1) 健診標準フォーマットへの変換はHASTOSサーバーで行う
- 2) 健診標準フォーマットは1500項目から2000項目に変更します
- 3) ダウンロード型POST.exのメンテナンスは年内に終了（予定）します

今後の予定

- 1) 施設長向けにPOST.exの利用方法の変更について通知
- 2) 年内にHASTOS利用申し込みし、サーバー型に移行
- 3) 来年度に向けては新団体が契約を行う

HASTOSを利用する健診実施主体が1団体から増加する 9月以降にHASTOSの利用が見込まれている企業

代行機関
企業・健保

- ・ R社、B社、W社
- ・ J社、O社、D社 等、6社が計画

変換前CSVの作り方

- ・ 命名規則 → 納品先名称を入れる
(誤送受信防止のため、詳細別途)
- ・ 変換前CSVは納品先が増えても1種類とする
納品先で納品項目が増えたら、最後尾に項目追加する。

エラーの確認について

- ・ 致命傷 → 項目数の違い (処理未完了)
- ・ ワーニング → データの妥当性確認 (相関チェック等)
- ・ マスタエラー → 事務局によるマスタ修正が必要